

第4回 (仮称)新宿区産業振興基本条例に関する懇談会 主な発言内容

新宿区の産業の役割・位置づけ

新宿区の産業の役割・位置づけは、「区民のため」か「産業活性化のため」か、「産業人のため」なのか、はっきりさせたほうが良いと思う。

事業所数・従業者数を増やすこと、工場や企業を誘致することが産業振興の目的ではないだろう。

区の産業振興プランでは商店街を産業と位置づける。区民の暮らしが無くなり企業が増えて栄えるのは、自治体としての方向性が違うからである。

新宿区が港区や渋谷区のようになるのは難しいが、創業は一定数を維持していければと思う。**創業は地域の活性化にとって非常に重要な鍵**となる。

新宿駅周辺だけでなく、落合、神楽坂、四谷などの経済圏をどう考えていくのか。

経済・産業は生きていくためのエネルギー＝金が稼げるということ。新宿は自分の発想とは違うモノ・人・空間と出会える場所で、「夢を実現できる場所」「夢の実現のきっかけをつかみやすいまち」にしていくと良いと思う。

条例の方向性

間接的でも直接的でも「区民の福祉向上のため」というのが新宿区という基礎自治体の役割で、その過程で「企業者のため」になり、その

結果「区民のため」になる場合もあれば、「来街者のため」に何かしたことが結果として「区民のため」になることもある。これをふまえて条例をつくっていくことになる。

「**地域の産業・企業の活性化**」というのが第一の目的であって、最も重要な手段となる目的である。また「**“正しい(いい)企業”をつくっていくこと**」がキーになる。この2つができることにより、地域経済の循環において、最終的には区民生活の利便性の向上に関係してくる。ただ企業を儲けさせるということではなく、それが「地域の産業・企業の活性化」につながっていくという位置づけになる。

実行できる条例にすること。「夢を実現できるまち」というのは良いと思う。区民・企業が新宿に来て本当に良かったと思えるまちにすることが一番大事なことである。

産業振興条例は意識改革を可能にするひとつの手法である。これには方向が2つある。1つは「区の内部の意識改革」つまり「**区職員の意識改革**」でとても重要なことである。2つめは「**区民の意識改革**」で、生活の中に産業があり、地域活性化には産業振興が大切だと意識づけできる。

条例の**内容はあまり細かくなくシンプル**にして、区職員と区民に対して徹底的に説明をし、具体事例を挙げて産業振興を肌で感じてもらう。条例をつくって終わりではなく、**プロモーションに時間とお金と労力をかける**事を提案する。

「行政の姿勢」(行政の覚悟、優先順位、明確な支援範囲)をはっきりと打ち出すべきである。「情報発信」は遅れていると思う。新宿区はどのようなヘルプをするのか、わかりやすくしっかり伝える。「行政の姿勢」「情報発信」、この2つは重要である。

条例をビジュアル化して発信してはどうか。

新宿区の産業の目指す姿

新宿は自分の発想とは違うモノ・人・空間と出会える場所で、「夢を実現できる場所」「夢の実現のきっかけをつかみやすいまち」にしていくと良いと思う。

何かひとつに絞るのではなく、いろいろな可能性を持った地域として考え、いろいろなものがあるからこそ相乗効果が生み出される形になっていくといい。産業・人材のつば的な要素を持った地域だと打ち出せるといい。「夢を実現させることができるまち」というのは良いとおもう。「夢」をキーワードとして考えたい。

多様性は新宿にとって伸ばすべきものだと思うので、あえて何かひとつにまとめるのではなく、多様性であることでできることがありメリットになるのではないかと。「**多様性ゆえにメリットがあるまち**」をクリアに打ち出せると新宿らしさが出てくるのではないかと。

「新宿で創業したい」「店を持ちたい」と思わせる魅力的な地域、新しい企業が次々と生まれてくる地域になることを目標にしていく。「誘致」よりも、魅力を高めて「**集まってくる**」という言葉が良いのではないかと。

新宿は日本経済を考えてみても、**起業家が生まれる可能性を持ったまち**なので、どのような仕掛けをつくっていくのか。

情報通信業やサービス業、小売業など中心となる産業分野を伸ばしていくこと。

区民・企業が新宿に来て良かったと思えるまちにすることが、一番大事なことである。

新宿駅周辺だけでなく、落合、神楽坂、四谷などの経済圏をどう考えていくのか。

新宿駅東口・西口の一点集中になっている経済を、もっと地域に広げていく。大学が存在する場所で地域おこしをしていく、産業をつくっていくというのはどうか。

地域について(商店街、地場産業など)

ひとつひとつは大きな産業ではないが、住宅地に商業地が無い新宿区には、生活の中にある「生きている商店街」が必要ではないか。

地域ごとに地域産業の核となるような企業や商店街を元気にさせていく仕掛けをどうするのか、その場合学校を巻き込んでいくのか。